



〈雑録〉歐米二於ケル會計士制度

水島，鐵也

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 6(3):417-438

(Issue Date)

1909-03

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00051364>



雜 錄

歐米ニ於ケル會計士制度

水島 鐵也

目 次

- 第一 總 說
- 第二 會計士制度ノ發達及ビ現況
- 第三 會計士ノ職務
- 第四 會計監査及ビ會計監査人
- 第五 會計士ノ監督
- 第六 會計士ノ養成

第一 總 說

近世資本制企業ノ發達ニ伴ヒ其組織及ビ經營甚ダ困難トナリ其適否ハ直ニ企業ノ成敗ニ影響スルコト、ナレリ是ニ於テカ企業ノ組織及ビ經營ト重大ナル關係ヲ有スル會計學ハ歐米諸國ニ於テ盛ニ研究セラレ會計事務ヲ業トスル一種ノ

専門家ヲ生ジタリ會計士 (Accountant) ト稱スル者はナリ蓋シ會計ハ企業ノ狀態ヲ數字のニ表示スルモノニシテ之ヲ正確ニ表示シ竝ニ此表示ヲ適當ニ解釋スルコトハ企業經營上極メテ必要ナルコトナルト同時ニ専門的智識ヲ要スルモノナレバナリ此等ノ會計士ハ商工業ノ發達ト共ニ益々重要ノ度ヲ加ヘ今ヤ商工業ノ分岐ニ應ジテ各事業ニ特殊ナル會計士ノ分岐ヲ生ジ又商工業ノ支店制度ノ海外ニ擴張スルニ從ヒ海外ニ於ケル支店所在地ニモ會計士ヲ駐在セシメテ會計ノ統一的監督ニ從事セント企ツル者スラ生ズルニ至レリ翻ツテ之ヲ我國ニ觀ルニ會計ニ關スル研究未ダ充分ニ行ハレズ世人モ亦之ニ對シテ重キ注意ヲ拂ハザルヲ以テ現時橫濱及神戸在住ノ外國會計士ノ外一人ノ會計事務ヲ業トスル者アラズ株式會社ニハ監査役ノ設ケアリト雖モ此等ハ概シテ會計學ニ關スル智識ニ乏シク而モ其職務ノ範圍漠然トシテ廣汎ナル到底充分ニ其任務ヲ盡

スコト能ハズ加之監査役ノ多クハ會社ノ重ナル株主ナルヲ以テ動モスレバ眼前ノ利害ノ爲メニ會社ノ經營上又ハ會計上ノ缺點ヲモ默過スルコト少シトセズ近時破綻セル諸會社ノ内情ヲ見レハ其原因ノ監査役ノ監視其宜シキヲ得ザリシニ起因スルモノ多キヲ知ルベシ此等ノ事實ハ我國商工業ノ發達ニ大ナル障害ヲ與フルモノナルヲ以テ時代ノ要求ニ應ジテ會計學ノ研究ヲ獎勵シ社界一般ニ會計ニ關スル智識ヲ普及セシメ之ヲ實際ニ應用シテ商工業ノ組織及ビ經營ヲ完全ナラシムルガ爲メニ會計士ヲ公認スル等ノ方法ヲ講ズルハ我國商工業ノ將來ニ對シ甚ダ緊切ナル問題ナリト信ズ由テ茲ニ歐米諸國ニ於ケル會計士ニ關スル制度ノ大要ヲ記述シテ以テ參考ニ供セント欲ス

第二 會計士制度ノ發達

及ビ現況

會計監査ノ制度ハ往古ヨリ存在セルモ其稍々

秩序のニ行ハル、ニ至リシハ複式簿記ノ會計ニ應用セラレシ以來ノコトナリ今歐米諸國ニ於ケル會計士ノ發達及ビ現況ヲ次ニ説述セン

英國ニ於テハ十七世紀ノ頃ヨリ複式簿記ハ漸次世人ニ歡迎セラレ會計監査ノ業務ニ從事スル者ヲ生ゼシト雖モ其數甚ダ少ク十九世紀ノ初ニ於テスラ僅ニ二十餘人ニ過ギズ其漸ク發達ノ萌ヲ顯セシハ十九世紀ノ前半ヨリ各種工業ノ勃興交通機關ノ發達ニヨリ英國ノ商業ニ著シキ進歩ヲ來シ企業ノ組織ニ一大變革ヲ與ヘタル以後ノ事ナリ西曆千八百四十三、四年ノ頃ニ當リ資本ノ鐵道ニ投ゼラル、モノ多ク投機盛ニ流行シ會社ノ會計監査ノ必要大ニ増加スルト同時ニ當時發布セラレタル株式會社ニ關スル法律ハ株式會社ノ會計監査ヲ強要セル條項ヲ置キタルヲ以テ會計監査ヲ業トスル者ノ需要ヲ増加セリ次イデ西曆千八百六十二年ノ會社法ニハ或種類ノ會社ヲ除キ一般的ニハ會計監査ヲ強要セル規定ナカ

リシト雖モ此法律ノ制定ハ大ニ株式會社ノ設立ヲ促シタル結果更ニ會計士ノ需要ヲ増加セリカクノ如ク會計士ノ數ヲ増加シ世人ノ之ガ監査ニ信賴スルニ及ビテハ會計士ヲ監督シ其品位ノ向上ト學術ノ進歩トヲ計ランガ爲メ同職業ニ從事スルモノ相集リテ團體ヲ組織スルニ至レリカハル運動ノ最モ早カリシハ蘇格蘭ニシテ西曆千八百五十三年設立ノエヂンボロー會計士協會ヲ以テ其嚆矢トナス次ヒデ同年秋ニハグラスゴーニ於テ會計士及ビ保險技師協會ノ設立アリ共ニ政府ノ特許ヲ得ント努メタル結果前者ハ西曆千八百五十四年後者ハ西曆千八百五十五年共ニ勅許ヲ得テ法人トナリ同協會員ハ一定ノ稱號ヲ專用シ會計士ノ資格ヲ定ムルノ權ヲ得タリ西曆千八百六十六年ニハアバードンニモ同様ノ協會設立セラレ翌年勅許ヲ得タリ而シテ此等ノ協會ハ破産法及ビ會社ノ改正ニ際シ建言セル所多ク内ニ在リテハ子弟ノ教育ニ盡クセルコト大ナリ

英蘭ニ於テハ蘇格蘭ト其破産人被後見者其他ノ無能力者ニ關スル法律及ビ裁判ノ手續ヲ異ニシ此等ノ事件ニ關シ會計士ノ必要比較の少カリキ然ルニ當時ノ會計士ノ事務ハ多ク破産ニ關スルコトナリシヲ以テ會計士ノ發達ハ蘇格蘭ニ比シ遅レタリ其最モ早ク設立セラレタル協會ハ西曆千八百七十年ノリバプール會計士協會ニシテ次イデ倫敦ニ會計士協會ノ設立アリマンチエスター會計士協會英蘭會計士協會シエフイールド會計士協會等相次イデ設立セラレタリシカハ西曆千八百七十九年會計士取締ニ關スル法案ヲ議會ニ提出スルニ至リシモ蘇格蘭ニ於ケルガ如ク勅許手續ニヨルヲ正當ナリトナシ西曆千八百八十年前記五協會ハ合併シテ英蘭及ビ威勒士公許會計士協會ヲ作り勅許ヲ經テ蘇格蘭ニ於ケル協會ト同ジク特權ヲ得タリ此協會ハ其後子弟ノ教育ニ從事シ且商業及ビ會計ニ關スル法例ノ改廢ニ盡力スル所尠カラズ現ニ英國ニ於ケル會計士

協會ノ主働力トシテ各地ニ支部ヲ有シ社會上政治上重要ナル地位ヲ占ム他方ニ於テ此等協會ニ入會セザル會計士及ビ其使用人ハ地方自治體ノ會計官ト相結ビテ西曆千八百八十五年會計士及ビ會計監查人協會ヲ作レリ

愛蘭ニ於テモ十九世紀ノ初會計士ハ既ニ存在シタリシモ其相團結シテ協會ヲ作ルニ至リシコトハ西曆千八百八十八年ナリ所謂愛蘭公許會計士協會ト稱スルモノ是レニシテ亦勅許ヲ經テ一定ノ特權ヲ有スルモノナリ此等ノ協會ハ會計士ノ地位ヲ上進シ會計學ノ進歩ヲ計リシカバ會計士ノ價值ハ漸次世人ニ認メラレタリ他方ニ於テ西曆千九百年ノ會社法ハ凡テノ株式會社ニ會計監查人ヲ選任シテ決算ノ檢査證明ヲ受クルヲ要スルコト、爲セリ此等ノ會計監查人ハ素ヨリ必ズシモ公許會計士タルコトヲ要セザルモ其専門的智識ト公平ナル判斷トハ一般社會ノ信認ヲ得テ現今ニテハ多クノ會社ノ會計監查ハ公許會計士

ノ手ニヨリテ行ハル、コト、ナレリ又近時商工業ノ規模大ト爲ルニ從ヒ其會計ノ組織及ビ監督ノ方法複雜困難トナリ専門家ノ技倆ニ待タザルベカラザルコト、ナリシカバ斯方面ニ於ケル會計士ノ職務ハ大ニ擴張シ會計士ノ著シキ増加ヲ來セリ西曆千九百二年ニ至リ英蘭蘇格蘭及ビ愛蘭ノ公許會計士協會ハ聯合會ヲ作り各協會ノ代表者ヲ以テ聯合常置委員ヲ組織シ一致ノ行動ヲ採ルニ便セリ今英國ニ於ケル重ナル協會ノ會員ノ數ヲ示セバ左ノ如シ

協 會 名	一八五五年	一九〇〇年	一九〇六年
英蘭公許會計士協會	一、三三七	二、六七四	三、四九二
蘇格蘭ニ於ケル三公許會計士協會	三四〇	※六九八	九八〇
愛蘭公許會計士協會	※五〇	一、二九〇	二、〇九七
會計士及ビ保險技師協會	一、六七七	四、七二二	六、六三九
合 計			

※ハ一八九九年末ノ統計ナリ

此等ノ中ニハ英領殖民地米國其他ノ諸國ニ在テ業務ニ從事スル者モ少カラズ且其内國ニ在

者ニシテ實際業務ニ從事セザル者ヲモ含ムト雖モ他方ニ於テハ上述ノ協會ニ屬セザル會計士モ存在スルヲ以テ此統計ニ依リテ英國ニ於ケル會計士増加ノ大勢ヲ伺フニ足ルベク殊ニ其發達ノ近年ニ於テ著シキヲ見ルベキナリ

北米合衆國ニ於テハ由來會社ノ會計検査ニ關スル一般法ナク又清算及ビ財産ノ管理ハ會計士ニ依リテ行ハル、コト少ナキヲ以テ會計士ノ職業ノ發達ハ主トシテ近時商工業ノ勃興ニ因ルモノナリ即チ西曆千八百八十二年ニ至リ會計學會ノ設立アリ次イデ千八百八十七年ニハ亞米利加會計士協會ノ組織ヲ見タリ此協會ハ紐育州法ニヨリ法人格ヲ賦與セラレタルガ其始微々トシテ振ハズ或ハ會計學校ヲ興シ或ハ會計士取締ニ關スル立法ノ必要ヲ主張セシモ其結果ノ見ルベキモノナク單ニ紐育地方的團體トシテ深ク世人ノ注意ヲ惹カザリシト雖モ其後多クノ會員ヲ得テ非常ノ勢力ヲ得ルニ至レリ會計士取締法ニ就キ

テハ此協會ノ運動ト前後シテ會計學會モ亦其必要ヲ主張セシモ遂ニ容レラレズ其後會計士ノ増加シテ弊害ノ萌出スルニ及ビテ初メテ西曆千八百九十六年紐育州ニ於テ之レガ制定ヲ見一定ノ資格ヲ有スル者ニ非ザレバ公許會計士ノ稱號ヲ使用スルコトヲ得ズトシ其取締ヲ嚴ニスルコトトナレリ爾來ペンシルベニア、メリランド、カリホルニア、イリノイス、ワシントン、ニュージャージー、ミシガン、フロリダ、ロードアイランド、ウタコラドコンチチカツト等モ同様ノ法律ヲ制定シ猶現ニ制定セントスル州少ラズ斯ル法律ノ制定アルト否トニ拘ラズ會計士ノ數ハ年々増加シ會計士協會ノ設立各州ニ起リシヲ以テ此等ヲ統一シテ共同ノ行動ヲ爲スノ便ヲ計ラシガ爲メ西曆千九百二年各州ノ會計士協會ノ代表者相集リテ會計士聯合會ヲ作りタリ而シテ西曆千九百五年一月ニ至リテハ前記亞米利加會計士協會モ其定款ヲ改正シテ會計士協會聯合會ト

氣脈ヲ通ジ斯業ノ發達ト學理ノ研究トニ從事セシカバ會計士ノ數ハ著シク増加シ大ニ社會ノ注意ヲ惹クニ至レリ然レドモ概シテイハバ北米合衆國ニ於ケル會計士ハ未ダ英國ニ於ケルガ如ク著シク發達セズ各會計士ハ競爭的態度ヲ以テ事務ノ種類ヲ問ハズ之レヲ引受ケ又ハ其業務ノ繁忙ナルヤ臨時傭ノ書記ヲシテ急迫ノ間ニ之ヲ處理セシムル等ノコトアルヲ以テ未ダ充分ノ信頼ヲ社會ニ得ルニ至ラズ唯夫レ北米合衆國ニ於ケル製品原價算定制度及ビ帳簿組織ノ完備ハ此等會計士ニ負フ所大ニシテ到底他國ノ及バザル所ナリ

伊太利ハ複式簿記ノ初メテ發明應用セラレタル所ナルヲ以テ會計事務ニ從事スル者早クヨリ發生シ中世紀ノ頃算數家ノ或者ハ之ニ從事シテ大ニ世ノ尊敬ヲ受ケタリトイフ爾來商業ノ發達ト共ニ會計士ハ漸次増加シ十六世紀ノ末ニ至リテハベニスニ會計士協會ノ設立ヲ見タリミラン

ボロニア等ニ於テモ相次イデ同様ノ協會設立セラレ皆政府ノ特許ヲ得テ會計士ノ業務ヲ其協會員ニテ獨占シ大ニ勢力ヲ振ヒタリ然レドモ伊太利ニ於ケル今日ノ會計士ノ發達ハ西曆千八百七十九年羅馬ニ於ケル全國會計士大會以後ノ事ナリトス此會ニ於テ伊太利各州ニ會計士協會ヲ設置スベキコトヲ決議シタル結果トシテ會計士協會ハ各地ニ起リ又會計學會ノ設立ヲモ見ルニ至レリ會計士ノ數モ漸次増加シ現今三百五十名ニ達セリ此等ノ協會ハ三年毎ニ全國會計士大會ヲ開キテ共同ノ利益ノ増進ヲ計ルモノナルガ近時會計士ノ權利ヲ保護シ斯業ノ取締ヲ嚴ニスルノ法案ヲ提出スルニ至レル等活動ノ見ルベキモノ多ク今ヤ伊太利ニ於ケル會計士ノ職務ハ大ニ發達ノ域ニ達セリ殊ニ北部商業都市ニ於テ一層然リトス

和蘭モ會計ニ關シテハ早クヨリ發達セル所ナルガ會計事務ヲ業トスル者ノ生ゼシハ西曆千八

百八十年ノコトナリ爾來會計士ノ數漸次ニ増加シ目下百數十人ニ上リ西曆千八百九十五年設立セラレタル和蘭會計士協會ヲ始メ近年同種ノ協會各地ニ設立セラル、ニ至レリ會計士協會員ハ通常從來會計事務ヲ執レル者、會計學ノ教師及ビ協會ニ於テ行フ試驗ニ合格セル者ナリ會計士ノ事務ノ範圍ハ他國ニ於ケルガ如ク廣汎ナラズ多クハ會計士ノ會計監査ニ從事シ又往々裁判所ノ命令ニヨリ支拂停止者ノ財産ノ調査ニ當ルコトアルモ會計士ノ清算ニハ與ラズ

白耳義ニ於テハ會計ニ關スル裁判上ノ鑑定ヲ爲ス者ハ早クヨリ存在セシモ會計事務ヲ業トスル者ハ公然認メラレズサレド近時商工業ノ發達ニ伴ヒ此等會計士ノ爲ニ貸借對照表ノ作製其證明及ビ會計監査ヲ爲シ又ハ清算及ビ破產事務ヲ執ル一ノ專門家ヲ生ジタリ會計事務ニ從事スル者ノ團體モ從來存在セザリシカド西曆千九百三年ニ至リブリュツセル商業會議所ト關聯シテ一ノ

協會ハ成立シタリ

佛蘭西ニ於テハ會計事務ハ由來深キ注意ヲ拂ハレズ社會上地位アル者ハ會計士ノ職務ニ從事セザリシカバ一般公衆ハ此職業ヲ劣等視スル傾アリキ近時商業教育ノ發達ニ伴ヒ會計士モ稍其地位ヲ上グルニ至リシモ未ダ世ニ重キヲ爲スニ足ラズ會計士ノ職務ハ何等ノ制限ヲ受クルコトナク何人ト雖モ亦如何ナル稱號ヲ以テスルモ自由ニ之ニ從事スルヲ得ルナリ現今會計士ノ職務ニ從事スル者ハ學校教師、會計士ノ會計人、法定會計鑑定人及ビ普通ノ會計ニ通ズル者ニシテ學校教師ハ一定ノ試驗ヲ通過セザル者ナルヲ以テ理論ニ通ズルモ實務ニ迂ク會計士ノ會計人ハ其本職ノ餘暇夜學商業學校ニテ學理ノ大體ヲ習得セシノミナレハ深キ理論ニ通ゼズ又法定會計鑑定人ハ裁判所ノ任意選定セル者ニシテ其技量一般ニ高カラズ佛國ニ於ケル會計士ノ發達ハ尙未ダ充分ナルニ至ラズ會計士ノ團體ハ相互救濟ヲ目

的トセルモノ、外英國ニ於ケルガ如キ性質ノモノナク西曆千八百八十一年一協會ノ成立シタルモ財源ニ乏シキ爲メ充分ナル發達ヲ遂ゲズ其交付スル會計士ノ免狀ノ如キモ大ナル價值ヲ認メラレズサレド近頃ニ至リテ會計士ノ資格ヲ定メ一定ノ稱號ヲ以テ之ヲ表示スベシトノ議論漸ク行ハル、ニ至レリ

獨逸ニ於テハ伯林其他ノ重要都市ニハ會計士ノ存在スルモ未ダ團體ヲ形成スルニ至ラズ此等ノ會計士ノ多クハ宣誓商事鑑定人トシテ商業會議所ノ推薦ニヨリ民事、刑事ノ訴訟ニ於テ會計ニ關スル鑑定ヲ爲シ又ハ時トシテ會社ノ會計監查貸借對照表及ビ事業報告ノ作製ニ從事ス

其他ノ歐米諸國ニテハ會計士ノ職務ノ認メラレタルモノ未ダ多カラズ蓋シ此等ノ事情ハ其國ニ於ケル清算破産及ビ訴訟手續等ニ關スル法制ノ如何ニヨリテ差異ヲ生ゼルモノナレドモ何レノ國ト雖モ商工業ノ發達ト共ニ企業ノ組織及ビ

經營ニ關スル事務ニツキ會計士ノ需要ヲ惹起シ其發達ヲ促シタルコト各國ノ趨勢ニ照シテ明ナリ而シテ此ニハ會計士制度ノ最モ發達セル英國ヲ中心トシテ此制度ヲ說述セント欲ス

◎第三 會計士ノ職務

會計士ハ公衆ノ需ニ應ジテ各種會計ニ關スル研究調査ニ從事スルヲ業務トスル者ナリ其職務ト範圍ハ各國ノ法制ト商工業ノ狀況トニヨリ一様ナラズト雖モ其普遍ニシテ重要ナルモノニアリ各種企業ヲ管理スルニ最モ適當ナル會計組織及ビ經營方法ヲ案出シ之ガ運用及ビ監督ヲ爲スハ其一ナリ各種會計ノ檢查ヲ爲シ其正確ナル證明ヲ爲スコトハ其二ナリ或ハ會計士ニシテ帳簿ノ記入商業書類ノ整理ニ從事スル者アルヨリ世人往々ニシテ之ヲ以テ會計士ノ本職トナスモノアリト雖モ是レ其一事務タルニ過ギズシテ近世ノ會計士ノ職務ハ寧前二者ニアリト謂ヒテ可ナリ

前記第一ノ職務タル實業家ノ顧問トシテハ會計士ハ企業家ノ爲ニ其事業ヲ開始スルニ際シ其事業ノ經營管理ニ關スル帳簿組織分課及ビ事務ノ分掌其他ノ事項ヲ畫策シ其事務ノ運轉ヲ監視シ又會計ノ整理、貸借對照表、事業報告、利益分配案及ビ其他會計上必要ナル諸表ノ作成又ハ損益計算及ビ所有物減價償却ニ關スル計算ヲ爲ス又彼ノ大工場ニ於ケル製品原價算定ノ如キモ近時ニ於ケル會計士ノ重要ナル職務ナリ蓋シ原價算定ノ如キハ甚ダ困難ナル事務ニシテ殊ニ新ニ合理的ナル原價算定ノ方法ヲ採用セントスルガ如キ場合ニ於テ一層然リトス抑原價算定法ヲ新ニ採用センニハ現在ノ財産ヲ評價シ完全ナル財産目錄ヲ調製セザルベカラズ然ルニ工場ニハ既成品、未成品又ハ製造中ノ品多量ニ存在スルトキハ財産目錄ノ作製ハ容易ノ業ニ非ズ爲メニ營業ヲ休止セザルベカラザルコトアリカ、ル場合ニ如何ニシテ經濟的ニ財産目錄ヲ作製スベキヤ

工場ノ全部ニツキ直ニ原價算定方法ヲ採用スベキヤ或ハ如何ナル人ヲ如何ナル地位ニ配置スベキカ等ヲ決定シ其業務ニ障害ヲ與フルコトナクシテ完全ナル原價算定法ヲ制定スルハ實ニ専門家タル會計士ノ力ヲ待タザルベカラザルナリカクノ如ク會計士ハ近世大企業組織ノ會計ヲ處理スルニ甚ダ必要ナルモノナルヲ以テ商工業ノ發達ト共ニ此種ノ業務ノ必要亦倍々増加スルハ言ヲ俟タザルナリ

會計士ノ第二ノ職務タル會計監査モ以前ニアリテハ重要ナルモノニ非ザリシガ近時會社事業勃興ニ因リ大ニ其ノ重要ノ程度ヲ増進セリ現今英國ニ於ケル會計士ノ收入ノ過半ハ此種ノ業務ヨリ生ズトイフ蓋シ會計監査ハ企業管理者ノ會計上ノ不正ヲ防遏シテ投資者ノ利益ヲ保護シ企業者ノ信用ヲ確保スルニ必要ナルノミナラズ企業各部ノ損益ヲ知リテ其經營ノ可否ヲ究メ將來ニ對スル企業ノ方針ヲ定ムルニ有益且ツ必要ノ

モノナリ而シテカ、ル會計監査ニ當ル者ハ能ク會計ノ事務ニ通ジ且企業管理者ニ左右セラレザル獨立ノ地位ヲ有スル者タルコトヲ要ス會計士ハ實ニ此資格ヲ具フル者ナルニヨリ法律ヲ以テ會計監査ヲ會計士ニ依頼スベキコトヲ規定セザルモ會計監査ハ多ク會計士殊ニ公許會計士ニヨリテ行ハル、ナリ蘇格蘭ニ於テハ彼ノ地方公共團體ノ會計監査モ公許會計士ノ手ニヨリテ行ハレ其成績ノ大ニ見ルベキモノアリ從來官吏會計監査ノ制ヲ採リタル英蘭ニ於テモ其改良ノ必要ヲ認メ西曆千九百三年ノ都營商業委員ヲシテ之ガ調査ヲ爲サシメタルニ同委員ハ官吏ノ會計監査ノ不利ヲ説キ蘇格蘭ノ制度ニ倣ヒテ公許會計士ヲシテ地方公共團體ノ會計監査ニ當ラシムベシト報告セリ此ノ如ク公許會計士ノ會計監査ハ甚ダ有效ニシテ且公衆ノ信賴ヲ博スルニ充分ナルヲ以テ今ヤ殆ンド凡テノ會社ノ會計監査ハ公許會計士ノ手ニ依リテ行ハレ個人企業者ト雖モ

其會計監査ヲ受ケテ世人ノ信用ヲ確保シ經營ノ不備ヲ改良セント計ルニ至レリ

上述ノ外會計士ノ取扱ヘル事務極メテ多シ此等ノ多クハ各國法律ノ規定ノ差異ニヨリテ會計士ノ事務トシテ重要ノ度ニ差異アルヲ免レズト雖モ其重ナルモノハ

- (一) 會社設立目論見書ノ作成
- (二) 會社ノ合併、讓渡又ハ組織變更ニ關スル事務
- (三) 會社ノ清算事務
- (四) 破産財團ノ管理及ビ處分 是レ元來會計士ノ重要ナル職分ナリシガ法令ノ改變ト破産會計士ノ分岐トニヨリテ一般會計士ノ職務トシテハ其重要ノ度ヲ減ジタリ
- (五) 裁判所ノ命令ニ依リ無能力者ノ法定代理人ト爲リテ財産ノ管理ヲ爲スコト
- (六) 遺産其他ノ財産ノ管理ヲ爲スコト
- (七) 遺産管理人又ハ財産受託者ノ爲ニ其會計ノ正當ナルコトヲ證明スルコト
- (八) 會計上ノ爭議ニツキ仲裁者、裁定者又ハ會計鑑定人タルコト
- (九) 財産狀態ノ探查ヲ爲スコト 例ヘバ或人ノ爲ニ其債務

者タラントスル者ノ財産狀態ヲ探査シ又ハ地主ノ爲ニ其小
作人ノ帳簿ヲ監査シ又ハ公共團體ノ爲ニ其強制買上ヲ爲ス
ベキ會社ノ財産ヲ調査スルガ如キ是ナリ

(十) 保險會社ノ爲ニ生命保險料率ヲ算出スルコト

等數ヘ來レバ實際ナカルベシ

上述セル所ハ會計士ノ主タル職務ナリ此內會
計監査ニ關スル事務ハ稍詳説スルヲ要スルヲ以
テ章ヲ改メテ之ヲ述ベン

第四 會計監査及ビ會計

監査人

會計監査ノ制度ハ會計ノ不整ヲ防ギ事業經理
ノ方針ヲ定ムルニ必要ナルモノナルヲ以テ政府
部內ノ會計ニツキテハ古クヨリ強行セラレタレ
ド私人企業ノ會計ニ對シ法律ヲ以テ之ヲ強要ス
ルニ至リシハ近來ノコトナリ米國ニ於テハ西曆
千九百四年ノ末ペンシルバニア州ニテハ同州內
ニ營業ヲ爲ス凡テノ會社ニ對シ公許會計士ノ會
計監査ヲ受クベキコトヲ規定セル法案ヲ議會ニ

提出セシト雖モ其法案ノ頗ル嚴ニ失セシト當時
公許會計士ノ數未ダ少クカ、ル法律ノ運用ニ應
ズルコト能ハズトノ意見ニヨリ遂ニ其通過ヲ見
ズ今日ニテハ保險銀行等公益ニ直接ノ關係ヲ有
スル機關ノ會計公示ニ關スル規定アル外一般ニ
會社ニ對シ會計監査ヲ強要セル概括の規定ナシ
又英國ニ於テモ近年ニ至ル迄カクノ如キ一般法
ハ存在セズ各種ノ法令中ニ會計監査ニ關スル條
項ヲ置クニ止マリシト雖モ西曆千九百年ノ會社
法ハ其第二十一條(後出)ニ於テ千八百六十二年
以來千九百年ニ至ル間ノ會社法ニヨリテ登記セ
ラレタル各會社ニ對シ一般的ニ會計監査ヲ強要
スル規定ヲ置キタリ而シテカ、ル強制的規定ノ
有無ニ拘ラズ會計監査ヲ受クルコトハ英國一般
ノ傾向ニシテ米國ニ於テモ多クノ會社ハ其會計
ニ關スル詳細ナル公告ヲ爲スハ屢々見ル所ナリ
會計監査ハ(一)帳簿記入ノ脫漏又ハ錯誤ヲ穿
鑿シ(二)計算方法ノ適否ヲ査定シ(三)經營方法

得ズ

ガ適當ニシテ法令定款又ハ契約等ニ違反セズ又最モ經濟的ニ行ハル、ヤヲ調査シ(四)其會計ノ確實ナルコトヲ證明スルニ在リ但シ是ノ目的ヲ達スル爲ニ會計士ノ採ルベキ方法ハ會計技術ニ

會計監査人ノ選定ニ關スル英國新會社法ノ規定左ノ如シ(同法第二十一條)

亘ルヲ以テ說カズ

各會社ハ毎年株主總會ニ於テ次年度株主總會ニ至ルマデ其地位ヲ保持スベキ會計監査人ヲ選定スベシ

英國ニテハ會計監査人ハ會社ノ株主タルコトヲ要ストセル法律アリ或ハ之ヲ株主ニ限ラズ何人ニテモ之ニ選定スルコトヲ得トセル法律アリ

株主總會ガ前項ニ從ヒ會計監査人ヲ選定セザルトキハ株主ノ請求ニ依リ商務省ハ其年度ニ對スル會計監査人ヲ選定スルコトヲ得

或ハ其會計監査人ノ一人ハ必ズ會計士ナラザルベカラズトセル法律アリ會計監査人ヲ選任スル者ハ大抵株主總會ナレドモ特ニ公益ニ關係ヲ有スル水道電氣鐵道等ノ會社ニアリテハ官廳ハ別ニ官命ノ會計監査人ヲ選定シ株主總會ノ選定セル會計監査人ト共ニ其會計監査ニ當ラシムルコトアリ此ノ如キ官選會計監査人ハ水道電氣等ノ消費

會社ノ取締役又ハ役員ハ其會社ノ會計監査人ニ選定セラル、コトヲ得ズ

者ノ爲ニ會計監査ノ任ニ當ル者ナルヲ以テ彼ノ株主ノ利益ノ爲ニスル會計監査人ト自ラ其種ヲ異ニシ同一人ヲシテ之ヲ兼テシムルコトヲ

會社ノ創立總會前ニ於ケル會計監査人ハ取締役之ヲ選定ス此會計監査人ハ第一年度株主總會マデ其地位ヲ保持ス但シ株主總會ニ於テ其排斥ヲ決議セル場合ハ此限ニアラズ此場合ニ於テハ株主總會ハ會計監査人ヲ選定ス

トアリ此ノ如キ官選會計監査人ハ水道電氣等ノ消費

會計監査人ニ缺員ヲ生ズルトキハ會社ノ取締役ハ之ヲ補フコトヲ得但シ補缺者ノ選定セラル、マデハ他ノ會計監査人ハ其職務ヲ行フコトヲ得

種ヲ異ニシ同一人ヲシテ之ヲ兼テシムルコトヲ

ト而シテ實際ニ於テハ會社ノ會計監査ハ公許會計士ニヨリテ行ハル、ヲ普通トス

種ヲ異ニシ同一人ヲシテ之ヲ兼テシムルコトヲ

會計監査人ハ其職務執行ノ爲メ或權限ヲ附與

セラル、ヲ常トス英國新會社法ハ此點ニ關シ左ノ如キ權限ヲ有スト規定セリ

(一) 何時ニテモ會社ノ帳簿計算書類及ビ證憑書ヲ檢閲スルコト

(二) 會社ノ取締役及ビ役員ニ對シ會計監査人ノ職務ヲ行フニ必要ナル報告及ビ説明ヲ求ムルコト

之ニ對シ會計監査人ノ爲スヘキ職務モ通常規定セラル英國新會社法ニ於テハ會計監査人ノ職務ハ左ノ二トセリ

(一) 貸借對照表ノ下部ニ會計監査人ノ要求ハ凡テ滿サレタルヤ否ヤヲ記載セル證明書ヲ作り之ニ署名スルコト

(二) 其監査セル會計ニ關シ及ビ其任期中會社ノ總會ニ提出セラル、凡テノ貸借對照表ニ關シ株主ニ報告ヲ爲スコト此報告ニハ該貸借對照表ハ會社帳簿上ヨリ見テ會社ノ眞實正確ナル狀態ヲ表示スル爲ニ作ラレタルモノナリヤニツキ其意見ヲ附スルコト

會計監査人ガ其職務ヲ行フニ當リテハ適當ナル注意ト技能トヲ用フルコトヲ要ス上述第二ニイフ「貸借對照表ハ會社帳簿上ヨリ見テ會社ノ眞實正確ナル狀態ヲ表示スル爲ニ作ラレタルモノ

ノナリヤニツキ其意見ヲ附スベシ」トハ單ニ帳簿ノ示ス所ニ從ヒ貸借對照表ヲ檢査セハ充分ニシテ更ニ其帳簿記入ノ正否ニツキテ研究スルノ要ナシトイフ意ニ非ズ會社ノ會計監査ハ形式上ノ監査ニ非ズ實質上ノ監査ナリ適當ナル注意ト技能トヲ以テ其帳簿ガ正當ニ作製セラレタルモノナルカラ調査スルニ非ズンハ會計監査人ハ其責ヲ免ル、コトヲ得ズ法文中ニ帳簿上ヨリ見テ云々ト規定セルハ帳簿中ニ記入セズシテ隱匿セラレタル事項ニ就テハ適當ナル注意ト技能トヲ以テセル以上ハ會計監査人ハ其責ニ任ゼザルイヲ表スニ過ギズ適當ナル注意ト技能トハ何レノ場合ニ於テモ會計監査人ノ責任ノ標準ナリ若夫レ海外ニ支店ヲ有スル場合ニ於テハ凡テ此等支店ノ帳簿ヲモ監査スルコトハ甚ダ困難ナルヲ以テ會計監査人バ其本店ニアル主要簿ヲ檢シテ支店ノ報告ガ凡テ適當ニ記載セラレアルヤ否ヤヲ監査シ且批評スルヲ以テ足レリトス

上述ノ會計證明書ハ貸借對照表ト共ニ公表セラル、モノナレドモ報告書ハ單ニ株主總會ニ於テ朗讀セラル、ノミ之ヲ公表スルト否トハ一ニ

モ一定ノ料率ナケレドモ倫敦ニ於テ行ハル、モノニ就キ一例ヲ示セハ

階級

會計業者自身

報酬(一日七時間執務)

一等書記(公許會計士ナルトキ)

三磅三志乃至十磅十志

一等書記(公許會計士ニ)

二磅二志

其他ノ書記

一磅十一志六片

一磅一志

於テハ會社ノ信用ニ關スル場合ヲ生ズベキヲ以テ此二者ヲ別々ニ作り報告書ハ之ヲ公表セズ單ニ株主ニ注意ヲ與フルニ止メシメントセルナリ唯實際ニ於テハ報告書ヲ別ニ作成シテ之ヲ秘密ニ附スルコトハ稀ニシテ大抵ハ之ヲ公表ス其方式或ハ證明書ト報告書トヲ一括シテ貸借對照表ノ下部ニ附記スルコトアリ或ハ之ヲ別々ニ作成シ各通ノ寫ヲ別々ニ貸借對照表ニ附スルコトアリテ一様ナラズ

會計監査人ノ報酬ニ就テハ英國新會社法ハ其選定ヲ爲セル者即チ株主總會商務省又ハ取締役之ヲ定ムベシトセリ公許會計士ノ報酬ニツキテ

第五 會計士ノ監督

以テ其一斑ヲ窺フニ足ルベシ此他或ハ其濟協會ノ會計檢査ノ場合ニ於ケルガ如ク其會員ノ多少ニヨリテ報酬ニ等差ヲ附スルモノアリ或ハ家畜保險協會ノ會計檢査ノ場合ニ於ケルガ如ク其收入ノ多寡ニヨリ報酬ニ差等ヲ附スルモノアリ或ハ勤儉貯蓄購買協會ノ會計檢査ノ場合ノ如ク其實上高ノ多寡ニヨリ報酬ニ差等ヲ附スルモノアリテ一定セズ

會計士ノ職務ノ重大ニシテ専門的智識ヲ要スルコトハ前述セル所ナリ殊ニ會社ノ會計監査ノ場合ニ於テハ株主ノ利益ト會社ノ信用トハ一ニ

懸リテ彼レガ技倆ト公正ナル態度トニ存スルヲ以テ會計士ノ監督ヲ嚴ニスルニ非ザレバ其弊ノ及ブ所計リ知ルベカラズ是ニ於テカ會計士ノ取締ニ關スル立法ハ近年各國ニ於テ注意ヲ惹起シ英國及ビ米國ニ於テハ此種ノ法律ノ制定ヲ見ルニ至リシコトハ既ニ第二章ニ述ベタル所ナリ此等ノ法律ハ其内容及ビ範圍ニ於テ多少ノ差アルヲ免レズト雖モ會計士ノ資格ヲ定メ其不正行爲ニ對スル制裁ヲ規定スルハ各法律ニ通ズル所ナリ唯英國ハ米國ト其立法ノ主義ヲ異ニシ英國ニ於テハ公許會計士協會ヲ中心トシ之レガ設立特許條例中ニ於テ公許會計士ノ監督ニ關スル規定ヲ置キ協會ヲシテ之レガ監視ノ任ニ當ラシムルニ反シ米國ニテハ州法ヲ以テ會計士法ヲ定メ州政府自ラ之レガ監視ノ任ニ當ル此兩者ノ差異ハ沿革上ノ理由ニ基クコト多ク其結果トシテ規定ノ内容ニモ差異アルヲ免レズ

會計士ノ取締ハ第一ニ其資格制限ニツキ現ハ

ル英、米其他多クノ國ニ在リテハ會計士トシテ各種會計事務ニ従事スルコトハ何人モ隨意ニシテ資格上ノ制限ナシト雖モ公許會計士トシテ一定ノ稱號(英國ニテハ其階級ニ從ヒ夫々 F.C.A. (Fellow of the Chartered Accountant) 又ハ A.C.A. (Associate of the Chartered Accountant) トイヒ米國ニテハ C.P.A. (Certified Public Accountant) トイフ)ヲ用ヒンガ爲ニハ一定ノ資格ヲ要スカ、ル資格ナキ者ハ此等ノ稱號ヲ用フルコトヲ得ズト雖モ絶對的ニ其會計事務ニ従事スルコトヲ禁ゼラレタルニ非ザルヲ以テ單ニ會計士トシテ公許會計士ト同ジク會計事務ニ従事スルコトヲ得ルナリ然ルニカクノ如キハ世人ヲ誤ラシムル恐アルノミナラズ此種ノ會計士ニハ公許會計士ノ營業上ノ不正ニ對シテ課スベキ制裁ノ規定ノ適用ナキ結果不都合ヲ生ズルコトアルベキヲ以テ公許會計士ニ非ザル會計士ヲ認ムベカラズトノ議論英國ニ於テ盛ニ行ハレツ、アルヲ見ル

公許會計士トナルノ資格ハ米國ニ於テハ公定ノ試験ヲ通過スルニアリ英國ニ於テハ公許會計士ハ公許會計士協會ノ會員タルコトヲ要シ而シテ公許會計士協會ノ會員タルニハ原則トシテ一定ノ試験ヲ通過スルヲ要スルヲ以テ其結果ハ公許會計士トナルニハ資格試験ヲ通過スルコトヲ要スルコトハナルナリ而シテ英國ニ於ケル制度ハ本章ノ初ニ於テ説ケルガ如クナルヲ以テ公許會計士ノ試験ヲ行フ者ハ各公許會計士協會ノ委員會ヨリ選出セラレタル試験委員ナルニ反シ米國ニテハ州知事ノ任命セル試験委員又ハ州ニヨリテハ州立大學ノ選定セル試験委員ナリトス其他試験ニ關スル制度ハ英、米ニ於テ多少異リ同一國ニ於テモ協會又ハ州ニ於テ多少ノ差異アルヲ免レズ此ニハ試験制度ノ最モ完備セル英、蘭及ビ威勒士公許會計士協會ノ制度ヲ説明シ其他ハ單ニ特異ナル點ニツキテ述ブルニ止メント欲ス同協會ニ於ケル試験ハ其協會委員中ヨリ委員

會ニ於テ選定シタル七名以上ノ試験委員ニテ行フ試験委員ハ試験ニ關スル規程ヲ定メ其内ヨリ試験官ヲ選定シ又別ニ補助試験官ヲ任命スルコトヲ得試験官及ビ補助試験官ハ筆記試験ヲ行ヒ其結果ヲ試験委員ニ報告ス試験委員ハ更ニ此報告ヲ審查シ其結果ヲ協會委員會ニ報告ス委員會之ヲ受理スルトキハ免狀ヲ交付シ協會員タルコトヲ許可ス此ニ於テ公許會計士ノ稱號ヲ得ルコトハナルナリ試験ハ毎年二回一定ノ日ニ舉行セラレ受験者ハ試験前少クトモ三十日ニ一定ノ試験料及ビ受験資格證明書ヲ添ヘテ試験委員ニ出願スルヲ要ストセリ試験ハ之ヲ三期ニ分ツ豫備試験中間試験及ビ終末試験是ナリ次章述ブル所ノ見習書記 (Articled Clerk) タラント欲スル者ハ豫備試験ヲ受クルコトヲ要ス但シ大學卒業生及ビ其特別課程修了者、或種ノ試験及第者、其他特ニ指定セラレタル者ハ實際試験ヲ受クルコトナクシテ豫備試験免除ノ證明書ヲ受クルコト

ヲ得ルナリ現今豫備試驗科目ハ左ノ如シ

一、書取及ヒ作文

一、算術

一、代數(二次方程式迄)

一、幾何(第四卷迄)

一、英國史及ヒ地理

一、羅匈語初歩

及ヒ羅匈語、古代希臘語、佛蘭西語、獨逸語、伊太利語、西班牙語、高等數學、物理學、化學、生理學、電氣及ヒ磁氣學、光學及ヒ熱學、地質學及ヒ速記術ノ內任意ノ二科目但シ其內一ハ必ズ語學タルコトヲ要ス而シテ此等ノ選擇科目ニツキテハ委員會ハ參考書ヲ選定シ試驗前四ヶ月ニ受験者ニ之ヲ通知スルコト、ナレリ

中間試驗ハ終末試驗ヲ受クルノ資格ヲ作ル爲メノ試驗ニシテ豫備試驗合格後少クトモ二年半(大學卒業生ハ一年半)見習書記トシテ公許會計士ノ許ニアリテ實務ヲ執レル者ニ非ザレバ之ヲ受クルヲ得ズ其試驗科目ハ左ノ如シ

一、簿記及ヒ會計(組合ノ會計ヲモ含ム)

一、簿記及ヒ會計(遺產管理人ノ會計ヲモ含ム)

一、會計検査

一、清算人受託者及ヒ破産管財人ノ權利義務

終末試験ハ協會ノ特許條例又ハ其準則ニヨリ特ニ其免除ヲ受ケザル者ハ凡テ協會員タル爲ニ通過セザルベカラザル試験ニシテ中間試験通過後二年間(大學卒業者ニシテ三年ノ見習書記トナリ居ル者ハ一年。但シ正當ノ理由アルトキハ委員會ノ決議ヲ以テ見習書記年期終了後何時ニテモ試験ヲ受クルコトヲ許スコトアルベシ)見習書記トシテ公許會計士ノ許ニ在リテ實務ヲ執レル者ニ非ザレバ之ヲ受クルコトヲ得ズ其試験科目ハ左ノ如シ

一、簿記及ヒ會計(組合ノ會計ヲモ含ム)

一、簿記及ヒ會計(遺產管理人ノ會計ヲモ含ム)

一、會計検査

一、清算人、受託者及ヒ破産管財人ノ權利義務

一、破産法及ヒ株式會社法ノ原理

一、商法並ニ仲裁及ヒ裁定法ノ原理

蘇格蘭ニ於テハ資格試験ハ西曆千八百九十二年以來三協會聯合シテ行ハル、コト、ナレルガ其終末試験ハ英蘭及ビ威勒士公許會計士協會ノソレニ比シ單簡ナルノミナラズ各會計士ノ見習書記ヲ使用シ得ル數ニ制限ナキヲ以テ其會員ノ増加著シク其影響ノ面白カラザルモノアルヨリ近時漸々其試験ニ改良ヲ加ヘツ、アリ其試験科目中英蘭ニ於テ見ルヲ得ザルハ經濟學及ビ保險數學ナルガ會計士ノ職務ガ次第ニ擴張シテ企業ノ經營及ビ組織ノ研究調査ニ及ブニ於テハ銀行論工業經濟等特殊經濟學ヲ試験科目中ニ加フルハ必要ノ事ナルベシ

米國ニ於ケル試験ノ程度モ亦英蘭ニ於ケルソレニ比シ甚ダ低ク且單純ナリ試験科目ハ各州共ニ會計學、會計實務、會計檢査及ビ商法ノ四者ニシテ其受験資格ハ州ニヨリテ異ナルモ大抵高等學校卒業程度ノ豫備教育ヲ必要トシ尙其會計士トナルニハ實務上ノ經驗ヲ有スルコトヲ條件

トスルヲ普通トス而シテ近時ノ傾向ハ漸次受験資格ヲ嚴密ニシ試験方法及ビ其程度ヲ改良シ以テ斯學ノ發達ト社界ノ要求トニ應ゼンコトヲ力メツ、アリ

會計士取締ニ關スル他ノ重要ナル事項ハ其不正ナル行爲ニ對スル制裁ナリ故ニ何レノ立法ト雖モ多少此點ニ關シ規定セザルモノナク或ハ犯則者ニ財産的刑罰ヲ課シ或ハ其營業禁止又ハ停止ヲ命ズルコト、セリ英蘭及ビ威勒士公許會計士協會ノ規定ハ第二ノ主義ニヨレルモノニシテ即チ左ノ場合ニハ委員會ノ特別決議ヲ以テ其犯則者ヲ協會ヨリ除名シ又ハ二年以内會員ノ資格ヲ停止スベシトセリ

一、公許會計士協會員ニ非サル者又ハ公許會計士トシテ自己ト組合關係ニ非サル者ニ自己ノ名ヲ以テ公許會計士トシテ營業ヲ爲スコトヲ認許シタルトキ

二、直接又ハ間接ニ辯護士ヲシテ自己ノ業務ヨリ生スル利益ノ分配ニ與ラシメ又ハ與ラシムルコトヲ約シ若クハ辯護士ノ業務ヨリ生スル利益、手數料其他ノ收入ノ一部ヲ受ケ又

ハ受クルコトヲ約シタルトキ

三、自己又ハ其組合員ノ管理、經營又ハ處分權ノ下ニアル動產又ハ不動産ノ賣買、貸借其他ノ事務ヲ處理スル爲メ備ハレタル競賣人、仲立人其他ノ代辦人ヨリ其受クヘキ手数料報酬其他ノ諸費用ノ一部ヲ直接又ハ間接ニ受ケ又ハ受クルコトヲ約シタルトキ

四、本協會特許條例發布ノ日公許會計士タル者ハ實際其業務ニ從事スルト否トヲ問ハス本協會委員會力認メテ以テ會計士ノ業務ニ從屬附隨スル事務ト爲サ、ル業務ニ從事シタルトキ

五、重罪又ハ輕罪ヲ犯シ若クハ詐僞ノ行爲アリタリトノ判決ヲ受ケタルトキ

六、本協會員又ハ被害者ノ告知ニヨリ本協會委員會ノ裁定ヲ以テ會計士ノ體面ヲ汚ス行爲又ハ過失アリトセラレタルトキ

七、破産ノ宣告ヲ受ケ又ハ個人若クハ組合員トシテ債權者ノ利益ノ爲ニ財産ノ讓渡ヲナシ又ハ債權者ノ決議、破産裁判所ノ命令若クハ一定ノ約定ノ下ニ其財産ヲ清算ニ附スルカ又ハ協諾契約ヲナセルトキ

八、本協會特許條例及ヒ準則ニヨリ納付義務アル會費其他ノ出費ノ納入ヲ怠ルコト六ヶ月ニ及ベルトキ

前項ノ内第八項ハ協會維持ノ爲ニ設ケタルニ過ギズシテ第一項乃至第七項ハ會計士ノ品格ト信用トヲ維持センガ爲ニ設ケタル規程ナリ而シテ此内第五項乃至第七項ハ會計士ノ職務ト關係ナクシテ一般ニ起リ得ルモノニシテ第一項乃至第四項ノミハ其職務ニ隨伴スル不法行爲ナリ此種ノ行爲ニシテ制裁ヲ附セルモノニ左ノ場合ヲ加ヘタル法制アリ

一、會計事務ニ關スル各種ノ報告書類ニシテ自己ノ指揮監督ノ下ニ行ハレタルモノニ非サルモノニ署名シタルトキ

二、業務ノ紹介ニ對シ直接又ハ間接ニ報酬ヲ與ヘタルトキ

三、不當ノ手段ヲ以テ業務ヲ得又ハ得ント企テタルトキ

四、爭議事項ニ關シ當事者ノ一方ノ爲ニ其成功ヲ條件トシテ報酬ヲ受クル約束ヲ以テ會計事務ヲ處理シタルトキ

即チ第一項ハ會計士ノ證明ノ不正確ニ陷ランコトヲ避クルヲ目的トシ第二項及ビ第三項ハ不當ノ競争ニヨリテ會計士ノ品格ノ墮落センコトヲ防グニ在リ若夫レ第四項ニ至リテハ當然ノコトナリ蓋シ會計士ハ辯護士ト異リ法ノ範圍内ニ於

テ全力ヲ盡シテ保護ノ手段ヲ講ズベキモノニ非ズ會計士ハ實ニ會計ノ監督官ナリ證明者ナリ當事者ノ利害ヲ放レテ其財産上ノ實況ヲ調査報告スベキモノナレバナリ

其他會計士ニ關スル各國法律ノ規定スル所ハ細微ノ點ニ於テ異ナル所多ケレド今一々之ヲ説カズ

第六 會計士ノ養成

會計士ノ養成ハ英國ニ於テハ從來主トシテ各協會ノ手ニ依リテ行ハル其最モ重ナル教育機關ハ見習書記ノ制度及ビ學生協會ナリ

英國ニ於ケル公許會計士協會ハ其會員トナルノ資格トシテ原則トシテ一定期間見習書記タルコトヲ要求スルコトハ前ニモ一言シタル所ナリ今其一例トシテ英蘭及ビ威勒士公許會計士協會ニ於ケル見習書記ノ制度ヲ記サンニ見習書記タラントスル者ハ豫備試験ヲ及第シタルカ又ハ之ヲ免除セラレタル者ニシテ年齢十六歳以上ノ者

タルコトヲ要シ一定ノ條件ノ下ニ初メテ公許會計士ニ就キテ事務ノ見習ヲ許サル、ナリ此年期間ハ協會委員會ノ許可ナクシテ他ノ業務ニ就クコトヲ得ズ且事務見習ノ報酬トシテ一定ノ金額ヲ其主人タル會計士ニ納ムルコトヲ要ス此報酬金ハ其主人タル會計士ノ地位ノ高低ニ從ヒ異ナルモ百「ギニー」乃至二百「ギニー」ヲ普通トス

見習書記ヲ使用シ得ベキ者ハ同協會員ニシテ現ニ自己ノ計算ヲ以テ會計事務ニ従事スル者タルコトヲ要シ同時ニ二人ヨリ多クノ見習書記ヲ使用スルコトヲ得ズ蓋シ公許會計士ノ數ノ著シク増加シテ競争ヲ惹起シ遂ニ其職業ノ秩序ノ崩壞ヲ來サンコトヲ恐レタルト多クノ見習書記ヲ使用スルトキハ勢各員ニ充分ナル實務上ノ修練ヲ爲サシムルコトヲ得ザルヲ慮リタルニ因ル唯特別ノ場合ニハ此數ノ制限ヲ受クルコトナシ例ヘバ組合組織ニテ會計事務ニ従事セル場合ニ其組合員ノ一人ガ死亡又ハ業務ヲ脱退シタルニ因

リ其使用セル見習書記ヲ當然殘存セル組合員ニ歸屬スルニ至リタルガ如キ又ハ或公許會計士ガ業務ノ禁止又ハ停止ヲ受ケ見習書記ヲ有スルコトヲ得ザルニ至リタル場合ニ之ニ屬セシ見習書記ヲ他ノ公許會計士ガ讓受ケタル如キ場合はナリ

見習書記ハ其主人タル公許會計士ノ指導監督ノ下ニ教育セラレ其不正ナル行爲アルトキハ同協會ノ特別委員會ノ審査ヲ經テ協會委員會ノ決議ニ附シ其登記ヲ抹消スカ、ル處分ヲ受ケタル者ハ委員會ノ許可ヲ得ルニ非ザレハ再ビ見習書記トナルコトヲ得ズ從ツテ遂ニ公許會計士タルコトヲ得ザルナリ

見習書記ハ斯クノ如キ制度ノ下ニ其公許會計士トナル前ニ五年又ハ三年(大學卒業生)ノ實務教育ヲ受クルモノニシテ英國ニ於ケル公許會計士ノ實務ニ通ズルハ全ク此制度ノ存在スルニ因ルモノナリ

見習書記ノ制度ニヨリテ實務ノ修得ヲ計ルト同時ニ會計士協會ハ夜學ヲ開キテ各種試驗ニ應ズルニ必要ナル學科ヲ授ケ又時々講演會ヲ開キテ會計ニ關スル講演及ビ討論ヲナシ又懸賞ヲ以テ論文ヲ募集シテ斯學ノ研究ヲ獎勵ス蘇格蘭ニ於ケルグラスゴー及ビエジンボロー協會ニ於テハ毎冬一定ノ期間定期講演會ヲ開キ大ニ成績ヲ舉ゲツ、アリ又各協會ハ圖書館ヲ設ケテ内外專門ノ書物ヲ蒐メ今ヤ其藏書ノ數倫敦ニ於ケル公許會計士協會ニテハ四千二百部グラスゴーニ於ケル公許會計士協會ニテハ四千三百部ニ上リ此等各協會ノ支部ニモ夫々補助ヲ給シテ圖書館ノ完備ニ力メシメツ、アリ

此等各種ノ設備ノ外見習書記ノ學力ノ向上ヲ助クル重要ナル機關ハ學生協會ナリカ、ル協會ハ古クヨリ各協會ニ附屬シテ設置セラレ名望學識ニ富メル公許會計士ノ下ニ時々名士ノ講演ヲ聞キ疑點ヲ討議シ會計學ノ開發ニ力メツ、アリ

殊ニ近年ニ至リテハ此等學生協會ノ聯合大會ノ開催アリ各協會ヨリ代表者ヲ出シ論文ノ討議及ビ意見ノ交換ヲ爲シ併セテ共同ノ精神ノ涵養ニ資スルコト、セリ

The Accountant ヲ初メ數種ノ專門雜誌ハ是等講演討議ハ勿論會計ニ關スル諸種ノ報導ヲ爲スノ有力ナル機關トシテ會計士ノ教育ニ資スル所尠ナカラズ

上述ノ如ク英國ニ於ケル會計士ノ養成ハ主トシテ實務教育ニ依ルモノナレド高等普通教育及ビ各大學ノ法科ノ如キハ會計士ニ基礎教育ヲ授クル所ニシテ今日モ尙甚ダ重要ナル機關ナリ其他近年倫敦經濟政治學校マンチエスター、バーミンガム大學商科ニハ會計學科ヲ置キテ上述ノ諸公許會計士協會ト氣脈ヲ通ジテ會計士ノ養成ニ力ムルニ至レリ

米國ニ於テモ會計士ノ基礎教育トシテ高等學校ハ重キヲ措カレ其修了後ハ多ク實習ニヨリテ事

務ヲ修得スルヲ普通トス各州ノ會計士法ハ多ク其資格トシテ一定ノ期間實務ヲ執リタルコトヲ要ストセルモ英國ニ於ケルガ如キ見習書記ノ制度ハ米國ニテハ發達セズ蓋シ米國ニテハ實業界ニ地位ヲ得ル機會多ク高等學校卒業後多クノ金ヲ投ジテマデモ見習書記タラントスル者ナキニ

ヨル
各協會ハ講演會ヲ開キ圖書館ヲ設ケテ會計學ノ發達ヲ計リツ、アルハ英國ニ於ケルト同ジ近年又學生協會ノ設立及ビ專門雜誌ノ發行ヲ見殊ニ西曆千九百年紐育大學ハ商業會計及ビ財政學校ヲ開キ千九百四年ペンシルバニア大學ハ會計及ビ財政夜學校ヲ設ケ其他ノ地方ニモ續々此種ノ計畫アル等米國ニ於ケル會計士ノ養成ハ大ニ世人ノ注目ヲ受クルニ至レリ